



岩 中 通 信

第5号

令和7年8月29日

※岩船中HPをご覧ください



更なる「挑戦」の2学期にしてください ~まだ見たことのない景色を見てほしい~

校長 高橋 秀明

[2学期始業式の講話より]

まずは、夏休み中に命に関わるような大きな怪我や事故がなくて、何より嬉しかったです。夏休み前に話した4つのことのうちの「命を大切にしてほしい」は◎です。他の3つ「規則正しく毎日健康に過ごす」「新しいことに挑戦してみる」「学習時間を毎日確保して復習する」は、どうでしたか。フォーサイト手帳を活用して、主体性と自己調整力を発揮しながら夏休みを過ごすことはできましたか。「できた」という人は自信にして、2学期も引き続きがんばってほしいです。「できなかった」という人は反省して、主体性を発揮して少しでも自己調整力を高めてほしいです。

さて、夏休み中も多くの生徒は様々な「挑戦」をして、新しい経験をしたり、成長したりすることができました。2学期も更なる「挑戦」をする学期にしてほしいと思います。

確かに新しいことに「挑戦」する時には、多くの人が「やったことがない、経験したことがない、失敗したらどうしよう、失敗したくない」など不安な気持ちになると思います。私もそうなので不安になる気持ちはよく分かりますが、そんな時こそ「自分の良さ」を信じ、少しの勇気を出して「挑戦」してみしてほしいと思っています。

「挑戦」することで、自分の可能性が広がったり、新しい自分や新しい世界に出会ったりすることができると思っています。仮にうまくいかなかったとしても、「失敗から学んで成長できる」という成功体験につなげることもできると思っています。

次の4つの場面での「挑戦」の例をいくつか紹介します。これらの例を参考にしながら、2学期も更なる「挑戦」をしていってほしいと思います。そして、12月にはより良く成長した「新しいみんな」に会いたいと思っています。みんなにも「まだ見たことのない景色を見てほしい、新しい自分に出会ってほしい」と心から思っています。

① 学校生活での挑戦

- ・体育祭や合唱発表会などの学校行事
- ・新生徒会リーダーへの立候補
- ・定期テストで過去最高点を目指す

② 自分磨きへの挑戦

- ・〇冊以上の本を読んで、知識を増やす
- ・毎日30分苦手教科を勉強して、「努力する力」を高める
- ・毎日「ありがとう」を意識して言い、感謝の気持ちを大切にする

③ 人間関係での挑戦

- ・新しい友達や先輩・後輩に話しかけてみる
- ・自分から積極的に元気なあいさつをする
- ・うなずいたり、質問したりして「聞き上手」になる

④ 将来への挑戦

- ・「将来の夢」を具体的にもち、今の自分に必要なことを調べてみる
- ・「自己調整力」を高め、メディアコントロールできるようになる
- ・ボランティアに参加して人間力を高める

2学期始業式（8月29日）

2学期始業式では、各学年の代表生徒が「2学期の抱負」を発表しました。

1学年：阿部 蓉月葉さん 2学年：佐々木 琉衣さん 3学年：坂野 蒼さん

※生徒の発表内容は、岩船中HPをご覧ください。

「学校活動ブログ」の「8月29日 2学期始業式」に記載されています。

体育祭準備活動の様子（7月31日～8月28日）

7月24日（木）の結団式を経て、7月31日（木）から体育祭スローガン「一岩（いちがん）～今日はオレたちが主人公だ～」の達成に向けて、生徒たちは実行委員・応援・マスコット・小道具係の準備活動をスタートしました。

準備活動から生徒一人ひとりが主人公となり、主体性を発揮しながら仲間と力を合わせて、活動を積み重ねていました。体育祭当日まで残りわずかとなりましたが、生徒と教職員が力を合わせて一生懸命に取り組んでいます。9月6日（土）の体育祭当日は、多くの保護者・地域の皆様から来校していただき、温かいご声援をお願いいたします！



実行委員会の様子



蒼軍マスコット係の様子



紅軍小道具係の様子

学校と地域を結ぶオープンセッション（7月31日）

参加者

3年 小田 真寛さん 小田 結愛さん 菊池 涼華さん
坂野 蒼さん 鈴木 颯太さん
2年 江口 空汰さん 佐藤 琉雅さん 渡邊光稀さん
1年 東海林 澄怜さん 竹内 梨紗さん



地域とのつながりを深めるオープンセッション

学校と地域を結ぶオープンセッションに岩船中学校が参加し、総合学習「イワカツ！」（岩船のためにできる活動）の取り組みを発表してきました。中学生、高校生、地域の方々、総数40団体、およそ100人が集う中、本校の生徒たちは堂々とした素晴らしい発表を披露し、会場を大いに沸かせました。

大成功を収めた岩船中学校の代表発表

今回の発表は、岩船中学校を含む中学校2校、高校2校、地域団体1団体の計5団体が担当しました。本校の発表では、3年生が司会とこれまで2年間の活動内容を発表しました。2年生は岩船の狭い小路を表現したユニークな劇を発表し、会場の笑いを誘い、

大きな拍手が送られました。また、1年生も先輩たちの頼もしい姿や、自分たちが将来目指す姿を力強く発表し、大変立派でした。

トップバッターという大役を任せましたが、参加した他の学校の先生方や地域の方々から「内容も発表の仕方も素晴らしかった」と、多くの温かいお言葉をいただきました。

貴重な交流と生徒たちの成長

発表後には、参加団体がブースに分かれてそれぞれの活動を紹介しました。本校の生徒たちも今年度の取り組みについて堂々と発表し、地域の方々や他校の生徒とのグループトークにも積極的に参加しました。

最初は緊張していた生徒たちですが、自分の意見をしっかりと述べ、他の参加者と交流することで、大きな自信をつけて帰ってきました。今回の経験は、生徒一人ひとりにとって、かけがえのない成長の機会となりました。

全校生徒が取り組む「イワカツ！発表会」のお知らせ

今回のオープンセッションは、岩船中学校の魅力や、生徒たちが地域を大切に思う気持ちを、多くの方々に知っていただく良い機会となりました。

さて、今年度の集大成となる「イワカツ！発表会」を12月2日（火）に開催します。全校生徒がそれぞれのテーマで発表する、素晴らしい会になることは間違いありません。

ぜひ、多くの保護者や地域の方々にご来場いただき、生徒たちの頑張りをご覧くださいければ幸いです。

広島平和記念式典派遣事業（8月5日～7日）

3年 小嶋 莉央さんが学校を代表して、8月6日に行われた広島平和記念式典に参加しました。前日の5日は、市内中学生の折った折り鶴を「原爆の子の像」に奉納し、平和祈念資料館を見学してきました。生徒の感想を紹介します。

私は岩船中学校を代表して、広島平和記念式典派遣事業に参加してきました。一番記憶に残っているのは、1日目の原爆ドーム・広島平和記念資料館への訪問、そして、2日目の平和記念式典への参加です。

原爆ドームを見たときは、この原爆ドームの場所だけ時間が止まっているように思え、今までに経験のない感情をもちました。以前、テレビなどで原爆について見たときには、「被爆者の方々が大変な思い、辛い思いをした」という表面的なことしか理解しておらず、戦争、原爆の悲惨さを深く分かっていませんでした。しかし、広島平和記念資料館を見たときに、被爆者の方の気持ちはもちろん、その親族の方などいろいろな人の気持ちが頭に浮かんだ気がしました。写真や絵で原爆の悲惨さを見たときには、すごく心が痛くなり、このような出来事があったということを感じたくない自分もいました。写真や絵、資料だけでもこんなにも悲しい、辛い思いをするということは、被爆者の方、親族の方はもっと辛い思いをされているはずで、この気持ちを絶対に忘れることはないと思っています。この経験は絶対に忘れてはいけないものだし、軽い気持ちで考える出来事ではないと思いました。

2日目の式典では、小学生、市長さん、石破総理、たくさんの人の思いや、気持ちがとても伝わる時間でした。いつもはテレビで見て、聞いて学ぶことが多かったのですが、実際に現地で聞くと、テレビで聞くよりもいろいろな思いが伝わってきて、とてもいい経験をさせてもらえて、私は本当によかったなと思いました。特に私が感動したのは小学生の誓いの言葉です。「いつか必ず被爆者のいない世界が来ます」という言葉を聞き、私たち若い世代がしっかりと原爆や戦争について学び、戦争や原爆を繰り返さないために行動しなければいけないと強く思いました。決して他人事ではなく、自分事としてしっかりと考えていきたいです。

残念ながら今の世界は、まだ戦争をしている国があり、世界には「幸せ」「この世界は平和」と自信をもって言えない人がたくさんいるはずで、原爆を使ったり、戦争をしたりして、いいことはないと思います。人々の幸せを奪っているようなものだと思います。戦争もなく、原爆も使われず、核兵器のない世界はどれだけ幸せで平和か、ニュースを見るたびに私は思っています。戦争はしてはいけない。そして、戦争をさせないために、これからの人生の中でしっかりと戦争や原爆に向き合い、しっかりと考え、そして、行動していこうと思いました。

郡市いじめ防止こどもサミット（8月8日）

いじめを許さない学校づくりの実現に向けた意識や行動力を高めることを目的に、郡市いじめ防止こどもサミットが開催され、3年 熊倉 さきさんと鈴木 颯太さんが学校を代表して参加しました。郡市小中学校・中等教育学校の代表児童生徒も参加し、上越教育大学いじめ・生徒指導研究研修センター長 高橋 知己様からいじめの構造やいじめを生まないために必要な「多様性の理解」について学びました。また、いじめを生まないために何が大切なのかについて、他校の児童生徒と主体的に意見を交わす姿が見られました。



村上・岩船地区わたしの主張大会（8月20日）

村上市教育情報センターで開催された「わたしの主張大会」では、岩船中学校を代表して、3年 齋藤 煌さんが「生きている今を大切にすること」について発表し、奨励賞をいただきました。家族との出来事から学んだことや、これから大切にしていきたいことを思いを込めて発表しました。



※生徒の発表内容は、岩船中HPをご覧ください。

「学校活動ブログ」の「8月20日 わたしの主張(村上・岩船地区大会)」に記載されています。

大阪・関西万博派遣事業（8月25日～27日）

3年 鈴木 颯太さんが岩船中学校を代表して、大阪・関西万博に参加してきました。派遣事業のねらいは、今回の体験を通して世界各国の人々と交流したり、文化に触れたりすることで、国際理解についての意識を高めるとともに、体験したことや感じたことを、自校や小学校で伝達することで、市内児童生徒の国際理解についての意識向上につなげることです。今後、鈴木さんがまとめたことを紹介する予定です。

【お願い】

地域クラブで県大会などの上位大会につながる大会の結果や資格の取得、コンクールでの表彰などがありましたら、学校にお知らせください。学校だよりで紹介させていただきます。

【お知らせ】

養護教諭の大倉未来先生がご出産のため、9月12日（金）までの勤務となります。代替の先生として、9月24日（水）から柏木美沙樹先生が着任予定です。よろしく願いいたします。

9月の主な予定

- 9/3(水) 専門委員会（体育祭係打ち合わせ）
- 5(金) 学校預り金引落日
- 6(土) 体育祭
- 7(日) 体育祭予備日
- 8(月) 体育祭振替休業日
- 9(火) スクールカウンセラー勤務日（午後）
- 10(水) 貧血検査
- 12(金) イワカツ！⑤⑥

- 16(火) テスト前放課後活動停止（～23日）
スクールカウンセラー勤務日（午前）
放課後学習会①
- 18(木) 放課後学習会②
- 22(月) 定期テスト1日目 給食後下校
- 24(水) 定期テスト2日目
避難訓練
- 25(木) 2年応急手当講習会
- 26(金) 専門委員会
- 30(火) スクールカウンセラー勤務日（午後）